


NO! リニア

No. 1 3 4

2022年4月21日

J R 東海労働組合

J R 東海労HP
にアクセス 



リニア中止しか選択肢はない 「リニアをめぐる現実を知っていますか？」でシェア&コメント

新幹線関西地本が本紙前号（リニアをめぐる現実を知っていますか？回答編）をフェイスブックにアップしたところ、以下のコメントが寄せられました。

Aさん

①、②、⑥についてはわかっていたが、まさかここまで莫大な費用がかかるとはね…☹
とはいえ、そもそも少子高齢化が進行中。しかも物価は上がるのに低賃金・長時間労働が横行する現代社会。このままだと日本の人口も減っていく事は明白且つ自然の流れ。従ってこの状況が続く限り、J R 東海にとっても収入が更に減る事も容易に予測できる。
なので将来を見据えて考えると、とてもじゃないが「リニアで黒字」なんて話はもはや絶望的に等しい。ならば答えは一つ。「リニア事業中止」しか選択肢は無い(それよりも、J R 東海管内における在来線及び新幹線において、それぞれ相応の充実化が妥当かと…)。
今後も更に三重・奈良・大阪の各府県にも話が及ぶだろうが、この3府県にもリニア反対の話を広げた方が、品川一名古屋間のリニア区間よりもいち早く未然に防げる可能性はあると思います。

Bさん

コロナ禍の2年間だけで、ざっと1兆6, 460億円の減収！
建築費1. 5兆円増もあり、すでに資金計画は破綻している。
コロナ禍が終わっても、(約7割だった) ビジネス需要は完全には戻らない！
1兆円ぐらいにまで戻って、頭打ちになるのではないか。
※2018年度からのJ R 東海の営業収入については略

Cさん

私はリニア新幹線建設に反対しているが、どれほどの資金が注ぎ込まれていかを十分には知らなかった。
知れば知るほどリニアは要らないという思いは強くなる。
#闘う労働組合を支持します。

会社は夢ではなく現実を見よ！